

平成28年度「日韓スカウト交歓計画(韓国スカウト招聘)」

事業実施基本構想(案)

2016. 2. 22. 現在

1. 事業実施の経緯

平成11年度から平成24年度までの14年間に渡り、ボーイスカウト日本連盟は、政府の委託事業として韓国スカウト連盟を招聘することにより日韓スカウト交歓計画を実施し、平成25年度（最終年度）は日本連盟の自己財源により実施した。

通算15年間実施した日韓スカウト交歓計画には、韓国から約2000人のスカウトと指導者が来日し、関連して開催された日韓スカウトフォーラム等の日本参加スカウト者約1500人と交流した。また、彼らが参加したジャンボリー、ベンチャー大会、各地でのキャンポリー、ホームステイを含めると10,000人以上が交流し、国際理解と相互理解を深め、スカウト間のみならず両国の良好な関係を築く一翼を担ってきた。これまでの参加者の多くは、現在では両国の関係維持・向上に貢献する指導者として両連盟で活躍をしている。

この成果を踏まえ、日韓両国スカウト連盟では、参加者が更に両国を理解し、良好な関係を深めるために事業を再開することに合意し、日本連盟は「日韓スカウト交歓計画（韓国スカウト招聘）」、韓国連盟は「韓日スカウトフォーラム（日本からの派遣）」を改めて開始することとした。

平成27年度は再開1回目として1月7日から1月17日までの11日間、韓国からベ・インシク派遣団長率いるスカウト35人、指導者4人、合計39人を招聘し、期間中は2泊3日間で成田のホテルおよび国立歴史民俗博物館と佐倉城址公園を会場として日本のスカウト47人との交流し、また自然、歴史、科学、教育現場などの見学学習を東京と神奈川で、最後に2泊3日間のホームステイを千葉で行った。

平成28年度は再開2回目となり、平成29年1月6日から1月15日までの10日間、韓国からスカウト36人、指導者4人、合計40人を招聘して事業を実施する。

2. 目的

- (1) 日韓両国のスカウトの交流を通して相互理解を深め、更なる良好な関係を計る
- (2) 韓国の参加者に次の機会を提供し、日本に対する理解を深める
 - 日本の社会・歴史・文化・自然・教育等の見学
 - 日本の生活様式を体験する
 - 日本の中高生年代との交流を通して若者の文化や考え方を知る
- (3) 日本の参加者は、韓国参加者から次の機会を得る
 - 韓国の歴史・文化・社会を知る
 - 韓国の中高生年代との交流を通し、若者の文化や考え方を知る

3. 主なプログラム

目的を達成するため、以下の3つの柱のプログラムを行う

- 日韓両国の同年代スカウトの交流（中高生年代のボーイスカウトおよびベンチャースカウト）
- 日本各地での見学（社会・歴史・文化・自然・教育等の見学・体験）
- ホームステイ

4. 事業概要

期 間：平成29年1月6日（金）～15日（日） 10日間

場 所：福岡、他 九州各地

人 数：韓国参加者（指導者4人、スカウト36人） 計40人

日本参加者（交流プログラム参加） 計47人

スタッフ 20人 全行程の同行者および2泊3日の交流プログラム奉仕者

日程案：1月 6日（金） 韓国参加者到着・オリエンテーション

1月 7日（土） 日本スカウトと日韓スカウトによる交流

*会場は福岡県内で調整中

1月 8日（日） 日韓スカウトによる交流

1月 9日（月） 日韓スカウトによる交流・日本参加者解散

1月10日（火） 韓国参加者 九州各地の見学（社会・歴史・文化・自然・教育等）

1月11日（水） 韓国参加者 九州各地の見学（社会・歴史・文化・自然・教育等）

1月12日（木） 韓国参加者 九州各地の見学（社会・歴史・文化・自然・教育等）

*九州各地の見学の期間で学校見学・生徒との交流を調整する

1月13日（金） 韓国参加者 福岡県内でホームステイ

1月14日（土） 韓国参加者 福岡県内でホームステイ

1月15日（日） 韓国参加者 ホームステイ終了・帰国

以 上